

令和7年度 笠間地域ケアプラザPDCAシート 公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—總括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

< 笠間地区 >

笠間地区は、大船駅に近く利便性の良い地区で戸建てと集合住宅が混在しています。1500世帯を超える大規模マンションを含め集合住宅が多い事が特徴です。古くからある住宅は高齢化が進んでいますが、新しい住宅には子育て世帯を含む様々な世帯の転入があります。

地域サロンや元気づくりステーション、体操教室、地域食堂、移動販売などそれぞれの小地域においても地域活動が非常に活発で、それぞれの活動を引っ張っていく力のあるリーダーが多いことも特徴のひとつです。

また、地区内では、「旧公務員住宅の跡地活用」や「危険な通学路の問題」、「空き家の問題」など、地域にお住いの皆さまにとって暮らしやすいまちづくり実現のために、積極的に栄区、横浜市に提案されるなど、行動力、実践力のある地域です。

＜長尾台地区＞

長尾台町内会は南北に広がり、大船駅徒歩圏内ながら田畑が残る静かな環境です。古くから住む住民はつながりがあり、様々な活動が活発に行われています。最近では、マンションがいくつか建設され更に転入者が増える事が予想されます。高齢化率は20%くらいで、特に若い世代(20～30代)が多い事も特徴のひとつです。

赤やんから高齢者までが集う「けいふきカフェ」、マルディックウーキング、コグニサイズ等の定期的な活動の他、納涼祭など地域をあげてのイベントなど多様な活動が非常に活発な地域です。

＜田谷地区＞

田谷地区は、担当エリアの中では、一番駅(ケアプラザからも)から離れている地域で、地域の方は、隣区である戸塚区まで買い物に行かれる方もいらっしゃいます。また、田畑など緑が多く残る広いエリアである一方、人口が1300人くらいと比較的に少ないため、戸建者が点在している状況です。町内会では、そういった課題に対し独自の見守りシステムを構築しています。「ちょうどよい見守り合い範囲」を設定し、どのよう方が近くにお住まいかお互いを知ってもらうために住民に自己PRを記入してもらい共有していますが、町内会未加入者へのアプローチを課題と捉えているようです。

納涼祭や芋煮会などの大イベントの他に、コグニサイズやシニアクラブなどの活動も活発に行われています。

ケアブラザの役割としては、地域の皆さまが「こういう活動をやってみたい」「こんな集まりがあれば」といったお声に対して、具現化する手法、活用する制度など、実現に向けての支援だと考えます。前述のように担当エリアでは、それぞれ素晴らしい活動が活発に行われています。参加者として、担い手として、ケアブラザ職員も地域活動に加わり、各団体の想い、困りごと、そのためにはどのような支援、情報提供が必要かを、日々の関わりから把握できるように努めます。

また、慢性的な担い手不足、後継者の不足など地域福祉では、長きにわたる大きな課題ではありますが、ケアプラザが主催する事業やボランティアコーディネート機能で、少しでも地域活動者を増やせるように力をいれています。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	☐	認知症当事者、ご家族、一般地域住民が気軽に集える場として「ひつじカフェ」の定期開催、安定的な運営に取り組めます。また、その中でＥスポーツ開催など、新しい切り口で、更なる活動の発展を目指します。
■	☐	学生ボランティアへの働きかけは、区域の活動の他、そこで得たつながりから、担当エリアの活動に発展するように働きかけます。また、上記記載のＥスポーツ企画など、若手が活躍しやすい自主事業から新たな層の担い手発掘に取り組めます。
■	☐	初心者を対象に、健康マージャン教室を計画しています。教室では毎回介護予防のミニ講座を繰り返し行い、介護予防への意識を高めていく。また、マージャン教室開催後は、定期的な場の提供を行い、参加者同士がマージャンをとおして、継続的に交流を持ち楽しむ機会を作っていきます。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・認知症カフェ（ひつじカフェ）の定期開催については、安定的に運営できており、毎回終了後に担い手との振り返り、今後の方向性についての話し合いもできている。ひつじカフェの中では、eスポーツ開催はできなかったが、ケアプラザ内、出前講座など、eスポーツの複数開催が出来たため、次年度はひつじカフェも含め、広く開催を検討している。

・学生ボランティアは区主催のスマホ講座での実績はあったものの、空間CP独自のアプローチにはつながらなかった。ただ、地域団体からのニーズが強かった「調理ボランティア育成」に関しては「調理ボランティア養成講座」を行い、少ない人数ではあったが、参加者一団体の見学一活動につながる、などの効果、実績となった。

・介護予防を目的とした麻雀教室は、計画通り開催でき、講座後の継続的な活動もクラブザが後方支援を行っている（毎月1回）。今年末までに定期的な話し合いを持ち、令和8年度からのグループの自主化を目指す。自主化にあたっては、リーダーの選出、適正な運営が継続できるように団体の運営規約などの作成もサポートしていく。趣味的な活動を通した介護予防の受け皿として機能するように継続的に支援していく。

☐ 区からのコメント

認知症カフェについては、担い手との振り返りを通じて継続的な改善が図られており、単に講座を実施するにとどまらずその先にある活動への参画につなげる視点が徹底されている点は大変評価できる取組です。また、ケアプラザ内や出前講座等においてeスポーツの取組が広がっており、アンテナを高く、情報を収集しながら、今後の展開につながる基盤が整えられていることも有意義です。

学生ボランティアの活用については、独自の取組としての発展には至らなかったものの、地域ニーズを踏まえた調理ボランティア養成講座の実施により、人材の活動参加につながっている点を評価いたします。

また、介護予防を目的とした麻雀教室については、計画的に実施され、継続的な活動として定着しつつある点が認められます。今後は、自主化に向けたリーダー育成や運営体制の整備を支援することで、地域の受け皿としての機能強化が期待されます。

さらに、移動販売に関する定期的なヒアリングや生活支援コーディネーター連絡会での協議など、地域ニーズの把握等を丁寧に進めいただきたありがとうございます。日頃からの細やかな関わりがあるからこそ、課題を的確に捉え、新たな取組へとつながることができているものと感じられます。

加えて、趣味活動を通じた介護予防の取組として継続的な支援が行われており、地域におけるインフォーマルサービスの充実に寄与している点を評価するとともに、今後の発展を期待いたします。

令和7年度笠間地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	「横浜市」と名のつく施設である事を重く受け止め、地域住民、福祉保健団体、介護保険事業所などに対して公正中立な立場で業務にあたります。 特に地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所の一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者に示す取り組みを実践します。	横浜市個人情報の保護に関する条例や、法人の個人情報(プライバシー)保護に対するマニュアル等に従い適切に個人情報を取り扱います。また、職員研修による意識向上に加え、当事業所職員以外の実習生やボランティアの方とも個人情報取り扱いの誓約書を交わし適切な情報管理に努めます。情報漏洩防止策としては、マスキング、ダブルチェック、ネット環境の整備など物理的な対策を講じ予防に努めます。
実績	公正中立に業務を行いました。地域包括支援センターで居宅介護支援事業所等「事業所の選択」に係る相談時は「ハートページ」等の事業所一覧を提示し、複数の選択肢から本人・家族が自由に選べることを説明しました。	個人情報の適切な取り扱いに努めました。年度初めの研修の他、事故発生や他の事業所での事故事例の共有などを行い、定期的な注意喚起を行いました。一人ひとりの個人情報保護の意識向上につながるよう取り組みを行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防と自立支援の視点を踏まえ、自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。	地域に住む高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持ち自分らしく安心して最後まで生活できるよう介護保険制度やインフォーマルサービスを活用し包括的に支援します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	社会福祉士・主任ケアマネジャー・看護師 〔常勤兼務 各1名〕 予防プランナー〔非常勤専従1名〕	管理者〔常勤兼務1名〕 介護支援専門員〔常勤専従3名〕
契約者数	220 名	141 名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	(ア)ご利用者が自立した日常生活を営めるように支援します。 (イ)ご家族の介護負担の軽減につながるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 10:00～15:00 【定員】 48名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 昼食代:850円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員 :2名(常勤兼務) 介護職員 :5名(常勤兼務) 介護職員 :16名(非常勤) 機能訓練指導員 :6名(非常勤兼務) 看護師 :6名(非常勤兼務) 介助員 :6名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 12225名 【契約者数】 110名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,579,813	972,858	21,552,471	20,898,471	654,000	横浜市より
内 受領額	20,579,813	972,858	21,552,471	21,552,471	0	
内 戻入額				△ 654,000	654,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	169,400	△ 169,400	
雑入	30,000	0	30,000	156,903	△ 126,903	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料	25,000		25,000	30,369	△ 5,369	
内 その他	5,000		5,000	126,534	△ 121,534	ルリエ大船通信費
その他	3,185,000		3,185,000		3,185,000	
収入合計	23,794,813	972,858	24,767,471	21,224,774	3,542,697	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,051,846	139,561	10,191,407	9,313,765	877,642	法人本部経費は含まず
内 本俸	6,228,000	139,561	6,367,561	5,891,139	476,422	
内 社会保険料	857,000		857,000	737,788	119,212	
内 手当計	2,770,000		2,770,000	2,507,211	262,789	
内 健康診断費	25,000		25,000	27,419	△ 2,419	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	95,000		95,000	84,270	10,730	
内 その他	76,846		76,846	65,938	10,908	
事務費	3,126,000	0	3,126,000	1,459,399	1,666,601	法人本部経費は含まず
内 旅費	16,000		16,000	13,600	2,400	交通費（スイカチャージ）等
内 消耗品費	438,000		438,000	367,843	70,157	コピー用紙、ペーパータオル等
内 会議開い費	27,000		27,000	17,770	9,230	運協飲料等
内 印刷製本費	84,000		84,000	53,846	30,154	広報誌、名刺印刷等
内 通信費	457,000		457,000	481,330	△ 24,330	電話料金、切手等
内 使用料及び賃借料	0	0	0	42,240	△ 42,240	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	42,240	△ 42,240	
内 内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	20,000		20,000	0	20,000	備品購入費
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	75,000		75,000	73,108	1,892	施設賠償責任保険
内 職員等研修費	0		0	0	0	
内 振込手数料	8,000		8,000	6,092	1,908	振込手数料
内 リース料	123,000		123,000	52,514	70,486	AEDリース、コピーリース等
内 手数料	0		0	0	0	
内 地域協力費	50,000		50,000	100,546	△ 50,546	地域協力費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
その他	1,828,000		1,828,000	250,510	1,577,490	新聞購読料、ルリエ大船駐車場・駐輪場他
事業費	500,000	0	500,000	226,094	273,906	法人本部経費は含まず
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	226,094	273,906	予算：指定額
内 その他			0	0	0	
管理費	9,612,767	0	9,612,767	7,470,746	2,142,021	法人本部経費は含まず
内 光熱水費	4,700,000		4,700,000	3,532,158	1,167,842	
内 清掃費	761,000		761,000	426,297	334,703	
内 機械警備費	222,000		222,000	221,908	92	
内 設備保全費	1,281,000	0	1,281,000	965,298	315,702	
内 空調衛生設備保守	455,000		455,000	255,000	200,000	
内 消防設備保守	129,000		129,000	117,467	11,533	
内 電気設備保守	35,000		35,000	35,448	△ 448	
内 害虫駆除清掃保守	96,000		96,000	53,531	42,469	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	566,000		566,000	503,852	62,148	
内 共益費	221,000		221,000	182,977	38,023	
内 その他	2,427,767		2,427,767	2,142,108	285,659	ルリエ大船管理組合費、修繕積立金他
修繕費	474,000	107,197	581,197	581,197	0	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	726,100	726,100	375,100	351,000	
内 事務スペース等狭あい対策・物価スライド		726,100	726,100	375,100	351,000	
支出合計	23,764,813	972,858	24,737,471	19,426,301	5,311,170	
差引	30,000	0	30,000	1,798,473	△ 1,768,473	

自主事業費 収入	0	0	0	169,400	△ 169,400
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	226,094	273,906
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 56,694	△ 443,306

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	25,000	0	25,000	30,369	△ 5,369	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	42,240	△ 42,240	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	25,000	0	25,000	△ 11,871	36,871	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,178,806	486,324	26,665,130	26,287,130	378,000	横浜市より
内 受領額	26,178,806		26,665,130	26,665,130	0	
内 戻入額		486,324		△ 378,000	378,000	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,066,954	67,115	6,134,069	6,134,069	0	横浜市より
内 受領額	6,066,954	67,115	6,134,069	6,134,069	0	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	17,000	△ 17,000	
雑入	0	0	0	682	△ 682	
内 印刷代	0		0	0	0	
内 自動販売機手数料	0		0	0	0	
内 その他	0		0	682	△ 682	
その他	2,124,000		2,124,000		2,124,000	
収入合計	34,553,760	553,439	35,107,199	32,622,881	2,484,318	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,816,688	377,439	29,194,127	28,446,468	747,659	法人本部経費は含まず*
内 本俸	16,796,000	377,439	17,173,439	16,460,809	712,630	
内 社会保険料	3,710,000		3,710,000	3,357,659	352,341	
内 手当計	7,700,000		7,700,000	8,066,552	△ 366,552	
内 健康診断費	42,000		42,000	66,306	△ 24,306	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	313,000		313,000	297,330	15,670	
内 その他	255,688		255,688	197,812	57,876	
事務費	1,932,000	0	1,932,000	1,519,484	412,506	法人本部経費は含まず*
内 旅費	18,000		18,000	11,500	6,500	交通費(スイカチャージ)等
内 消耗品費	240,000		240,000	204,775	35,225	コピー用紙、ペーパータオル等
内 会議随い費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	19,000		19,000	19,800	△ 800	名刺印刷等
内 通信費	237,000		237,000	266,077	△ 29,077	電話料金、切手等
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	20,000		20,000	49,800	△ 29,800	備品購入費
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	76,000		76,000	73,497	2,503	施設賠償責任保険
内 職員等研修費	0		0	16,764	△ 16,764	
内 振込手数料	8,000		8,000	10,890	△ 2,890	振込手数料
内 リース料	255,000		255,000	97,504	157,496	コピーリース等
内 手数料	0		0	13,200	△ 13,200	
内 地域協力費	10,000		10,000	5,000	5,000	地域協力費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	1,049,000		1,049,000	750,687	298,313	車両リース、カフソ代、自動車保険料他
事業費	1,364,000	0	1,364,000	491,922	872,078	法人本部経費は含まず*
内 協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	19,474	30,526	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000	46,849	△ 16,849	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	500,000		500,000	19,599	480,401	予算：指定額
内 その他	0		0	0	0	
管理費	2,315,072	0	2,315,072	2,189,877	125,195	法人本部経費は含まず*
内 光熱水費	1,088,000		1,088,000	938,928	149,072	
内 清掃費	202,000		202,000	113,319	88,681	
内 機械警備費	58,000		58,000	58,988	△ 988	
内 設備保全費	340,000	0	340,000	256,591	83,409	
内 空調衛生設備保守	121,000		121,000	67,784	53,216	
内 消防設備保守	34,000		34,000	31,224	2,776	
内 電気設備保守	9,000		9,000	9,422	△ 422	
内 害虫駆除清掃保守	25,000		25,000	14,229	10,771	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	151,000		151,000	133,932	17,068	
内 共益費	58,000		58,000	48,639	9,361	
内 その他	569,072		569,072	773,412	△ 204,340	リペア大船管理組合費、修繕積立金他
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
その他	0	176,000	176,000	0	176,000	法人本部経費は含まず*
内 物価スライド		176,000	176,000		176,000	
支出合計	34,553,760	553,439	35,107,199	32,773,761	2,333,438	
差引	0	0	0	△ 150,880	150,880	

自主事業費 収入	0	0	0	17,000	△ 17,000
自主事業費 支出	734,000	0	734,000	239,922	494,078
自主事業 収支	△ 734,000	0	△ 734,000	△ 222,922	△ 511,078

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和 7 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市笠間地域ケアプラ

2025年4月1日～2026年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,383	5,541	-1,158	5,552	7,386	-1,834	27,900	29,908	-2,008	123,553	119,312	4,241
	その他	0	0	0	0	0	0	5,707	8,079	-2,369	2,071	5,888	-3,817
	介護認定調査委託事業収入			0			0	297	559	-262	0	0	0
	委託事業収入			0			0	857	1,107	-250	0	0	0
	その他の事業収入							0	0		0	414	-414
	受取利息配当金収入							0	0		1	43	-42
	受入研修費収入			0			0	0	0	0	0	68	-68
	雑収入			0			0	0	0	0	0	66	-66
	サービス区分間繰入金収入			0			0	4,553	6,410	-1,857	2,028	4,983	-2,955
	寄附金収入							0	3		0	251	-251
	その他			0			0	0	0	0	42	63	-21
	収入合計(A)	4,383	5,541	-1,158	5,552	7,386	-1,834	33,607	37,987	-4,380	125,624	125,200	424
支出	人件費			0			0	27,207	27,754	-547	85,656	89,664	-4,008
	事務費			0			0	771	674	97	2,677	5,334	-2,657
	事業費			0			0	0	3	-3	12,114	19,136	-7,022
	管理費			0			0	121	160	-39	16,908	7,364	9,544
	その他	2,828	3,214	-386	3,342	3,881	-539	3,718	3,506	212	7,798	4,378	3,420
	利用者負担軽減額			0			0	0	0	0	0	0	0
	消費税			0			0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	2,828	3,214	-386	3,342	3,881	-539	0	0	0	0	0	0
	ファイナンス債務の返済支出			0			0	977	977	0	244	244	0
	サービス区分間繰入金支出			0			0	2,741	529	2,212	0	0	0
	拠点区分間繰入金支出			0			0	0	2,000	-2,000	3,000	0	3,000
	長期運営資金借入金元金償還支出							0	0	0	4,134	4,134	0
	その他			0			0	0	0	0	420	0	420
	支出合計(B)	2,828	3,214	-386	3,342	3,881	-539	31,817	32,097	-280	125,153	125,876	-723
収支 (A) - (B)		1,555	2,327	-772	2,210	3,505	-1,295	1,790	5,890	-4,100	471	-676	1,147

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	毎日が楽しくなる！LINE操作個別相談相談&カフェDE交流	令和6年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	シニア世代と学生ボランティアがスマートフォン(主にLINE)相談会を通じて多世代交流を促す。 シニア世代と交流することで、世代間の違いに気づき、視野を広めてもらう。	1：高齢者		5/20(火)12名が参加	1	0	18	0
2	びよびよタイム・ばくばくランチ	H23年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	子育て支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、ちょっとした相談場所を提供する。	3：養育者及び乳幼児		区役所事業(地域育児教室、子育て支援)の後時間をフリースペースとし、昼食が摂れる場とする。主任児童委員、民生委員の見守りで、母親同士が買い物やトイレにゆっくり行けたり、ちょっとした相談ができる。事業名・変更し、ばくばくランチ(毎月第2金曜日)は、子育て支援あそびっこの後にランチタイムを実施。びよびよタイムは地域育児教室の後、お昼までのフリースペースとして実施(毎月第3水曜日)	23	0	501	0
3	出張！駅ひろば	H23年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援。広い場所でのびのび遊ぶことを目的とする。	3：養育者及び乳幼児		「親子の駅ひろば」より職員が出張し、乳幼児親子を対象としたイベントを行う。 6月、10月、2月(年3回)	3	0	70	0
4	さかえおもちゃ病院	H17年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	大切なおもちゃを直すことなどを通じて、子どもの健全育成の手助けをする。	4：子ども・青少年		ボランティアによるおもちゃの修理。壊れたおもちゃを持参いただき、直してもらい、長持ちするよう使い方などをあらためて教えてもらう。 毎月第2日曜日(年12回)	24	0	107	0
5	ポッチャにチャレンジ	R2年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいを持つ方から高齢者まで一緒に楽しみ、ふれあえるきっかけ作りの場とする。	2：障害児・者		地域の方との交流として、ポッチャと一緒にこなう 毎月第2、第4日曜日実施	24	0	251	0
6	笠間ハーモニー	R5年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	楽しく歌って、心身共に健康になって住み慣れた地域で、交流の輪を作る。	1：高齢者		9月より毎月第一水曜日 ピアノの伴奏に合わせて皆で歌う。	12	0	879	0
7	権利擁護相談会	H26年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	身近なケアプラザで専門家に成年後見・遺言・相続などの相談が出来る場を作ることにより、成年後見制度の利用促進、または自分らしい「老い支度」を支援する。	1：高齢者		司法書士・行政書士による個別相談会 5 後期 区内地域ケアプラザで1回ずつ、計7回開催	1	0	6	0
8	終活講座	H22年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者が人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう支援する。栄区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の普及啓発。	1：高齢者		専門家による講義 「シニアライフノート」「成年後見」 5 年2回	2	0	66	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
9	高齢者虐待出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待の予防・早期発見	6:事業者		介護保険事業所等に出向き高齢者虐待についての出前講座を行う。 依頼に応じて年数回	8	0	84	0
10	成年後見制度出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の普及啓発	6:事業者		居宅介護支援事業所に出向き、ケアマネジャー向けに成年後見制度についての出前講座を行う。制度をわかりやすく説明すると共に、成年後見制度等の利用が必要なケースは包括に相談するよう呼びかける。	1	0	4	0
11	介護者のつどい	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で過ごす為、主介助者に対し、介護力向上、役割緊張の軽減、知識を把握、ピアサポート等を目的に開催。	1:高齢者	.5.6.7	・介護力、知識の習得の為、必要時は講話を設定 ・ピアサポートの為に交流会を行う ・必要時は相談	3	0	32	0
12	施設協力医との懇談会「下田先生と懇談会」	R3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・住み慣れた地域で生活が出来る様、介護と医療の連携に努める ・地域の専門職どうし関係の構築を測る ・知識の向上	6:事業者	1.5.7	顔の見える関係づくり、医療や疾病についての質問、業務上での悩み、トピック等の情報交換などをしていく。	7	0	13	0
13	薬局薬剤師との多職種懇談会	R3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・住み慣れた地域で生活が出来る様、介護と医療の連携に努める ・地域の専門職どうし関係の構築を測る ・知識の向上、資源の把握	6:事業者		包括担当エリアの薬局薬剤師とケアマネジャーやサービス支援事業者とで薬に関する相談・意見情報交換、テーマを決めて講義を行ったりする。	1	0	8	0
14	民生委員とケアマネジャーとの懇談会	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	民生委員と在宅介護の中核をなすケアマネジャーとの連携を密に図り、関係強化を構築することを目的とする。相互の業務の理解、情報交換等を行う。	7:その他	5.6	日頃の業務で支援しているケースで、共有すべき問題等の情報を交換して業務に活かしていく。 開催：年2回程度予定	1	0	6	0
15	栄ケアネットとの共催事業（講座開催等）	R2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区の居宅介護支援事業所の連絡会と協働して企画・運営を行い研修会等を開催してく。	6:事業者		学びたいことを抽出して講座を開催。栄ケアネットの予算（会費）から講師謝金や運営費を出費して年に数回開催。	0	0	0	0
16	地域ケア会議	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で、出来るだけ安心して暮らし続けるために、住みよい地域を作る（地域包括ケアシステムの構築）	5:地域	1.2.6.7	見守りについて、認知症の問題、高齢と障害の複合的な問題等、個別事例から個人を支える地域でのネットワークづくりを目指して会議を年3回程度	3	0	41	0
17	栄区在宅医療相談室との共催事業	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療と介護（支援事業者）との連携の強化（顔の見える関係を深める）を目的として、ケアマネジメント、医療、ACP等様々な内容について一緒に内容を考え企画・運営を行っている。	6:事業者		勉強会（支援者向け・地域住民向け）	1	1	46	3
18	区高齢障害担当と包括主マネとの共催事業	R3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーの知識やマネジメントのスキル向上を目的に、包括的継続的ケアマネジメントの講座を企画から運営を行っている。	6:事業者		支援者を対象とした勉強会	1	0	17	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
19	はまレク	H20年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民を対象に、介護予防への関心や知識を高め、介護予防活動の取り組み継続を促す。同時に保健活動推進員自身の健康や介護予防の意識を高める。	1:高齢者	5	4月 保活の役割と介護予防 6月 計測練習 5・9・11・12・1月 イベント 7・10月 計測会	9	0	195	0
20	介護予防出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のサロンやイベントに出向き、介護予防の啓発を図るとともに、参加者の見守りや地域の情報を得る機会とする。	1:高齢者	5	<定期>Bブロックサロン、ふれあい昼食会、 にこにこサロン <不定期>プランズさろん、おれんじさろん、Aブロックサロン 等 フレイルやロコモ予防の体操、講話年間を通して	35	0	962	0
21	医療と介護の一体的事業 フレイルチェック	R6年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	横浜市の施策の先行区として始められたフレイル状態を早期に発見し、対応を進めるための事業。	1:高齢者		フレイルチェックとフレイルについての講話(集団または個別)年間を通して	8	0	144	0
22	こころもスッキリ！からだづくりの喉トレ	R7年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防の口腔機能の維持に関する意識は、なかなか普及していない。「声ヨガ」という耳新しい分野から、口腔機能に興味を持つ、楽しく介護予防を学んでもらう。	1:高齢者		口腔機能について 口の筋肉の効果的な動かしか方 6月24日	1	0	20	0
23	シニアライフをもっと楽しく健やかに！ 麻雀を学ぼう	R7年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	介護予防にあまり関心を示さない方に関心を持ってもらうため、麻雀を通して、社会参加、認知症予防に取り組むきっかけづくりをする。、今後、自主化に向けた支援を検討していく。	1:高齢者		6月3・10・17日 介護予防ミニ講話・麻雀の講話と体験 6月23・30日、7月以降月1回	11	0	102	0
24	地域計測会	R5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	フレイル予防の活動として、ケアプラザになじみのない地域高齢者が集まれる場に出向き、そのような対象者に対して計測を行い、自身の体の状態に関心を持ってもらう。	1:高齢者		計測器を使った計測等 年間を通して	6	0	195	0
25	福祉保健活動おそうじ	R5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉保健ボランティア活動の場の提供。団体間の交流を深める。	5:地域		多目的ホールの清掃を実施。 【時期】令和6年3月	2	0	25	0
26	親子de遊ぼう！わくわくタイム	H14年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①近い年齢の子ども、養育者への遊びの機会提供 ②公立保育園との距離が遠い地域の為、公立保育園とのつながりを作る。	3:養育者及び乳幼児		公立保育園2園の協力で開催。 集団遊び、親子遊びを提供。 10月(年1回)	2	0	38	0
27	大画面でe-sport体験	R7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	シニア層の新しい地域参加、楽しみの場を提供	1:高齢者		7月24日実施	2	0	20	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業
2：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他	3：養育者及び乳幼児 5：地域 6：事業者	

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
28	新任ケアマネジャー懇談会	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・就労3年未満のケアマネジャー対象に、地域資源、横のつながりの構築のため、開催	6:事業者		令和7年7月30日開催 よこはま港南台地域包括ケア病院から包括ケア病棟のお話を、後半はワールドカフェにてケアマネとして大切にしていることをグループワークを行った	3	0	27	0
29	太鼓ゲーム体験会	R7年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	・社会参加促進 ・ケアプラザの周知 ・民間事業者との連携	5:地域		担当エリア内にある湯快爽快田谷の休憩ところを貸し切ってeスポーツを知ってもらい体験してもらう。 実施時期:10月	2	0	72	0
30	調理ボランティア養成講座	R元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・ケアプラザ調理室を利用している調理関連ボランティア団体の活動者が高齢化・減少しており、その活動者を発掘するため	5:地域		区役所生活衛生課による衛生講座と活動団体との懇話会 実施時期:10月	1	0	5	0
31	早押しクイズに挑戦	R7年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	民間事業者との連携の一環として、キオクシア株式会社の有する早押しクイズシステムを活用させてもらい、新たな地域住民の社会参加を促す	5:地域		事業者が主導し、早押しクイズを体験してもらった。 実施時期:11月	1	0	15	0
32	栄区地域ケアプラザ7館合同自主企画よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①身近な会場で研修会を受けていただく機会の提供 ②ボランティア拡充	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要やボランティアについての講習。受講者にはボランティアポイントカードが発行される。 11月(年1回)	1	0	11	0
33	小さなアーティスト展	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の表現できる場づくり ②地域周知	2:障害児・者		区社協、区役所の協力を得て、地域で暮らす個別級、特別支援学校に通う子どもたちの作品を表現できる場を作り、地域の方に知ってもらうための区役所、SAKAESTA(さかえすた)等で展示会の開催 (時期未定)	1	0	430	0
34	にこりんく共催事業	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	にこりんくのアウトリーチ事業。 にこりんくとケアプラザの機能周知の場。	3:養育者及び乳幼児		地域の養育者の興味関心のあることを題材にイベントを開催 9月(年1回)	1	0	34	0
35	障がい児余暇支援	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の余暇の場の提供 ②保護者や関係機関、地域に対して、相談機能を有するケアプラザを周知する ③中学卒業後の障がい児の地域とのつながりの場の提供	2:障害児・者		基幹相談支援センターの協力を得て、地域で暮らす障害児が楽しめる、春夏秋冬の季節に合わせたイベントを開催する。 (各ケアプラザで年2回ずつ実施)	2	0	22	0
36	バイオリンとピアノが紡ぐウィンターコンサート	R7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	このコンサートは、さかえふれあいプロジェクトとして、地域の人が身近なケアプラザで気軽に音楽に触れ、交流できる場をつくることを目的としている。バイオリンとピアノの演奏を通じて、地域のつながりと心の豊かさを育むことを目指している。	5:地域		地域住民を対象にバイオリンとピアノによるコンサートを開催する。クラックや冬の名曲を中心にやさしく、親しみやすい音楽を届けることで、参加者が心温まる時間を過ごす。	1	0	52	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
37	生活改善1カ月チャレンジ	R7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域高齢者が住み慣れた地域で長く暮らせるよう、介護予防の知識を普及し、自身の生活を見直し取り組むきっかけづくりをする。特に地域課題であるフレイル予防に重点を置く。	1：高齢者		①姿勢のチェックと改善のためのトレーニング（個別指導含む） ②フレイル予防の栄養 ③口腔機能の改善	3	0	35	0
38	ひつじカフェ	R6年	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	地域住民が認知症についての理解を深め、地域で認知症の方を支えていくための意識づけとして、また、認知症の方の居場所として、一般の方も認知症の方とも交流できるカフェをひらく。	1：高齢者	5	月1回、キャラバンメイトとケアプラザ5職種（キャラバンメイトを兼ねる）が主催し、カフェを開く。季節を取り入れたメニューや制作などを盛り込む。認知症サポーター養成講座で募集したボランティアの協力を得る。	10	0	170	0
39	高齢者のためのスマホ30分相談会	R7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	シニア世代と学生ボランティアがスマートフォン（主にLINE）相談会を通じて多世代交流を促す。シニア世代と交流することで、世代間の違いに気づき、視野を広めてもらう。	1：高齢者	6	高齢者6名に対し、LifeAcademy卒業生9名+学生ボランティア3名が交流しながらスマホ操作実習を受ける。	1	0	20	0
40	シニアのためのメンタルウェルネス講座	R7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢期の心理の特徴を知り、こころの健康を保つ必要性を理解し、心の持ち方を見直すことで、会アプローチを変えてフレイル予防の啓発を行う。	1：高齢者		高齢期のこころの特徴、ストレスとそのマネジメントについての講義演習	1	0	23	0
41	シニアのためのメイクアップ講座	R7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	自分に合った化粧方法を身に着け、外出を楽しむことができ、閉じこもり予防につながるきっかけづくりをする。	1：高齢者		メイクの基本的技術を学ぶ（ファンデーション、眉、チーク等）	1	0	13	0